

油断大敵 さらなる新型コロナ感染防止にむけて

令和2年8月3日

学生の皆様・保護者各位

高田短期大学学長 梅林久高

7月に入り、東京、愛知県、大阪府などの都市部における一日当たりの新規感染者数が過去最高数値を示すなど、感染再拡大の状況が続いており、三重県内でも10代、20代の若い世代を中心に新規感染者数が増えています。

この現状をうけて、7月28日、知事から新型インフルエンザ特別措置法第24条第9項に基づく、各高等教育機関への協力要請（「感染防止対策の徹底」「学生への注意喚起」）等をはじめ、感染拡大防止に向けた新たな指針（「三重県指針」ver.3）が発表されました。その中で、とりわけ若い世代の方々に対して、軽症や無症状のまま、知らないうちに感染を拡大させないように、感染を決して人ごとと思わずに、日常生活において『うつらない、うつさない』慎重な行動や、徹底した感染防止対策をお願いしています。

ついでに、本学として、あらためて学生の皆様に以下の感染防止対策をお願いしますので、熟読していただき、自らの生命を守り、他者に感染させない自覚と強い意志をもって日常生活の中で活用、実行していきましょう。

- 県外への移動については、その必要性や異動先について今一度、立ち止まって慎重に検討する。
- 感染が急速に拡大している地域（首都圏、愛知県、大阪府等）との往来は避け、繁華街等の感染の危険が指摘されるエリアには近づかない。
- 県外・県内を問わず、感染防止対策が不十分な飲食店、クラブ、カラオケなどには行かない。また、大人数での会食や飲み会を避け、飲食店内では大声で話さない。
- 毎朝、検温と体調確認を行い manaba により報告し、体調がすぐれないときには外出せずに休養する。
- 1日に何度も手洗いや手指消毒を行い、常にマスクを着用するとともに、近距離（1メートル余り）での会話はマスクを着用していても十分に注意する。
- 会食中の感染が数多く報告されており、友人同士で食事をする時にも常に感染対策を心掛け、対面を避け、おしゃべりは控えめにする。
- アルバイト先は危険の少ない所を選び、自分自身でも感染防止対策を心掛ける。
- イベントに参加する際は、原則マスクを着用し、手洗いや手指消毒を行い、「三つの『密』の環境を徹底して避ける。
- スマートフォンを活用した「新型コロナウイルス接触確認アプリ COCOA」を活用する。
- 事実に基づく冷静な対応を行い、人権侵害につながるうわさやデマを信じない。
- 本学においては、クラブ活動やサークル活動等は、8月31日まで原則、禁止とする。活動について必要があれば、事前に学生課まで申し出ること。
- 新型コロナウイルスに感染（濃厚接触）または感染の疑い等があるときには、早期に、本学またはゼミナール担当教員まで連絡すること。（土日祝日に加えて、8月12日（火）～8月16日（日）の期間、本学は閉鎖中です。）

【学長から一言】

長い夏期休暇に入ります。2年生は就職活動や実習がありますので、体調に気を付けて精進してください。1年生の皆様も体調管理をしっかりと目標、計画を立て、それに向かった努力をし、後悔のない青春の1ページを大きく美しく描いてください。忍耐や我慢することにより私たちは育ちます。



将棋の天才と言われている藤井聡汰さんが17歳で「棋聖」の位につかれました。コロナ禍のため対局ができなかった日々が長くあり、また悩みも多くあったそうです。でも、このコロナ禍の間が自分をみつめなおす時間となり、今までの数々の試合を再度ふりかえり反省する時間となったと告白していました。天才少年のこの言葉に感動しました。天性まれなる能力を持つ人でも、時間を大切に自己をみつめ、反省しつつ前に進んでいられるならば、私たちは自分なりに努力することがいかに大切であるか気づきます。

仏教の教えに一粒万倍(いちりゅまんばい)という用語があります。今、短大のまわりにも広がる稲の異名でもあります。意味はわずかなものから多くの利益収穫を得るたとえでもあり、わずかなものでも粗末にはいけないという意味でもあります。一人即一切人(いちにんそくいっさいにん)も同じ教えです。一人の私がめざめること、実行することにより、すべての人々に次から次へと良い影響をもたらすとのこと。

今のところ、コロナ禍を吹き飛ばす特効薬やワクチンはありませんので、ただただ私たち一人一人がコロナ感染防止のための対策を日常生活の中で実行していきましょう。一粒万倍、一人即一切人の重さを心にしっかりと刻んで歩いていきましょう。

新学期に元気で明るい姿で再開できることを念じます。